

一般社団法人京都府トラック協会 令和4年度事業報告

- 令和4年度の前半は、新型コロナウイルスによる感染が継続し、思うような事業活動ができない状況でありましたが、徐々に感染者数も減少傾向となり年度後半からは事業、行事の再開ができることとなり、1月には3年ぶりの新年祝賀交歓会が盛大に開催できました。

トラック運送業界は、コロナ禍の影響やロシアによるウクライナ侵攻等による原油価格の高騰等で物価が高騰し大変厳しい経営環境を余儀なくされたところでもあります。

- 令和4年度は、国から地方自治体に交付されている「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」がトラック運送業界にも活用が拡大されましたので、京都府トラック協会では、厳しい経営状況の一助とすべく理事、支部役員等の皆さまにご協力をいただき京都府内の自治体に、要望活動を実施したところでもあります。その結果、京都府・京都市・福知山市や精華町他8の自治体から給付を受けることができました。

全会員の皆さまが給付の対象となり支給を受けていただくことができました。

- 全日本トラック協会による「事業用トラック総合安全プラン2025」が策定され「死者数と重傷者数の合計970人以下」、「飲酒運転ゼロ」と定め、「車両台数1万台あたりの死者数と重傷者数の合計を6.5人以下」とする重点削減目標が掲げられました。京都府トラック協会では、会員事業所に於いて注意喚起を促進すべく、セミナーや講習会また啓発物の作成・配布等を行う等様々な事業に取り組んで参りました。

- 若年労働者の人材不足が最も深刻となっている中で、本年4月1日から時間外労働が月間60時間を超える場合、割増率が1.5割増しとなります。また、改善基準告示の改正で、令和6年4月1日からは時間外労働が年間960時間以内となります。その様な状況の下、「標準的な運賃」の収受や働き方改革実現に向けたセミナーの開催や人材確保のため行政と連携した求職者を対象とした説明会等を開催するなど各種事業を行って参りました。さらに、運行管理者や整備管理者に対する講習を開催するなど適正な事業運営の推進をして参りました。

- 総務委員会の下部組織として、業界の諸課題について議論するため「課題検討小委員会」を発足させ、まずは「2024年問題」と「標準的な運賃」について検討していただきました。今後は、検討内容を取りまとめ、国や関係行政機関、全ト協等へ要望していくこととしております。

- SDGsを軌道に乗せるため、環境や交通、労務対策に取り込み、事業展開を図ることといたしました。

- 業界の必要となる情報を迅速にお知らせするため、広報誌「きょうとらっく」やホームページ、メール、LINE（SNS）を活用し、トラック運送事業の振興発展と地位向上、会員サービスの充実に努めて参りました。

以下、令和4年度に取り組んだ事業の内容を報告いたします。

1 地方貨物自動車運送適正化事業

[主な事業]

- ▷ 貨物自動車運送事業における輸送秩序の確立と安全を阻害する行為の防止を図るため、適正化事業指導員による巡回指導を行った。巡回時には「運行管理ガイドブック」「運輸安全マネジメントシート」「トラドック2022」等を配布し分かりやすく説明を行った。

- ① 適正化事業指導員による巡回指導パトロール（年間巡回実績：524事業所）
- ② 事故防止・安全対策等の指導内容の充実強化

- ③ 運輸安全マネジメントの普及促進と広報啓発活動の推進
- ④ 事業者のコンプライアンス確立に向けたセミナー開催など啓発活動の推進
- ⑤ 運行管理に関する啓発物品の作成と活用
 - ・運行管理業務と安全マニュアル、安マネマグネットシート・カレンダー、運転管理12ヶ月
- ⑥ 適正化事業実施機関評議委員会：1回
- ▷ 巡回指導で問題があると判断した事業者に対して個別指導を行ったほか、国の監査指導強化に対応し、特に悪質性の高い事業者について速報を行った。
- ▷ 優良事業者への顕彰の一環として安全性評価事業(Gマーク制度)の推進を図ったほか、適正化事業実施機関に対する外部からの意見を聴取するため、評議委員会を開催した。
- ▷ 安全性評価事業を推進し、認定事業所数の増を目指すため、新規認定を受けられた事業所とA方式による継続認定を受けられた事業所に対し助成を行い、評価点数が優秀(満点)な事業所は京都府トラック協会会長名で表彰を行った。
 - ⑦ 安全性評価事業(Gマーク制度)の積極的な推進(新規：25、更新：119、計144事業所)
 - ⑧ 認定事業所(新規・A方式による更新)に対する助成：84事業所
 - ⑨ 評価点数の優秀事業所表彰
- ▷ Gマークを広く周知するため、Gマークラッピング車両の導入を行った。
 - ⑩ Gマークラッピングトラックの導入：2両(京ト協)
- ▷ ドライバーが受診する適性診断受診料等への助成や運行管理者講習会の充実を図った。
 - 受講料等助成(適性診断：6,620人、運行管理者講習：一般933人、基礎412人)

2 近代化促進・経営安定対策

[主な事業]

- ▷ トラック運送事業における経営の安定を図るため、業界を取り巻く動向についての情報の提供を行った。
- ▷ 経営の健全化や近代化を促進するため、近代化基金を活用した融資や利子補給事業、運転資金借入時の保証料助成等を行った。
 - ① 近代化基金融資の推進と利子補給事業(融資：19社、利子補給：105社)
 - ② 信用保証協会保証料助成事業の実施
 - ③ トラック運送事業者に特化したIT化の推進
 - ・中小トラック運送事業者のためのIT活用セミナー：1回 50名
 - ④ トラック運送事業に関わる国の動きや全ト協の調査事業等の情報収集と提供
 - ⑤ 総合的経営診断、WebKITの普及促進、経営改善指針に基づく施策推進
 - ⑥ 軽油価格に関する調査結果の公表(軽油価格調査：12回実施)
 - ⑦ 経営基盤強化対策としての運輸安全マネジメントシステムの普及促進
 - ⑧ 標準的な運賃の届出や運送契約の書面化等普及・啓発の実施
- ▷ 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金のトラック運送業界への給付に向けた要望活動を積極的に実施した。
 - ・結果：京都府、京都市、福知山市、精華町、亀岡市、京丹後市、宮津市、舞鶴市、南丹市、宇治田原町、城陽市、与謝野町 12の府市町から支援を得ることができた。
 - ・京都府分については、京都府からの委託事業として支援金の支給を実施した。

3 交通対策

[主な事業]

- ▷ 「トラック運送事業における総合安全プラン2025」に基づき、「飲酒運転根絶」のタペストリーの作成・配布を行った。
 - ・「軽い一杯 重い代償 飲酒運転根絶」
- ▷ 交通事故等の削減を図るため、ながらスマホ防止、あおり運転防止の啓発用ポスターの作成・配布を行った。
- ▷ 交通安全研修会やセミナーの開催、京都府交通安全協会と連携し安全通学支援グッズを連名で作成、配布するなど、交通事故防止に向けた様々な取組を推進した。
 - ① ドライバーコンテスト：(京都大会：11t・4t・トレーラ・女性の4部門)
 - ・各部門の優勝者を全国大会へ派遣した(結果：4トン部門 3位入賞、女性部門 準優勝)
 - ② 交通安全講習・研修会
 - 初任運転者指導講習(社内教育指導者向け講習会)：2回 16社 16名(市内・北部)
 - 一般ドライバー向け教育・研修(交通安全研修会)：2回 17社 27名(クレフィール湖東)
(ドライバー安全運転研修会)：12回 23社 19名(山城)
 - 高齢ドライバー向け教育・研修(交通安全研修会)：8回 8社 10名(山城)
 - 交通事故防止セミナー(車輪脱落事故防止)：1回 76社 76名
 - プラン2025目標達成セミナー：1回 8社 8名
 - ③ 児童絵画コンクール：低学年 3作品、高学年 1作品
 - ・年度末まで京都運輸支局(1F)に展示した
 - ④ 交通事故防止コンクール等への参加促進
 - 交通マナーを高める事故防止コンクール
 - ・金賞(9)、優秀賞(6)、奨励賞受賞(37)：52事業所
 - セーフティラリー京都
 - ・参加：305チーム、無事故無違反達成率：80.1%
 - KTKラリー
 - ・参加：1,259チーム、無事故無違反達成：1,118チーム、達成率：88.80%
 - ⑤ 交通安全に係る啓発活動等への参画
 - ・全国交通安全運動、輸送安全総点検、正しい運転・明るい輸送運動等
 - ⑥ 交通安全活動等への協力・協賛(自転車交通事故防止CMコンテスト・グッズ提供等)
 - ⑦ 「お仕事ノート」の作成し、京都市内の全小学校3、4年生に配布した。
 - ⑧ 交通安全対策、SDGsへの取り組みを周知した
- ▷ 交通事故防止関連機器の導入に対する助成を行った。
 - 交通事故防止関連機器導入助成
 - ・ドライブレコーダー：103社 322台
 - ・安全装置等：後方視野確認支援装置 236台・アルコール検知器 1台
 - 運転記録証明書の交付手数料助成：15,107名
- ▷ 貨物自動車運送事業者が事業用自動車の運転者に対して行う「指導及び監督の指針」に基づき、ドライバーの安全教育ツールとして導入しているオンライン型学習システム「グッドラーニング」の利用促進を図った。
 - 利用者数 初任 24社 87名、一般 67社 2,231名
- ▷ 無事故・無違反(20年と10年)の優良安全運転者に対し表彰した。
 - ⑨ 優良安全運転者表彰：20年表彰 1社 1名、10年表彰 8社 14名

4 環境対策

[主な事業]

▷ 運送用トラックの排出ガスによる環境汚染防止を図るため、環境対策関連機器の導入助成を行った。

① 環境対策関連助成

○ 環境対策関連機器導入助成

- ・環境対応車：ハイブリッド 7台
- ・アイドリングストップ支援機器：電気式毛布等 19台

▷ 行政及び関係団体等と連携し、地球温暖化防止・環境負荷軽減に向けた啓発活動等を推進した。

② 「省エネ運転講習会」

- ・エコドライブ講習会：2回（市内、北部）参加：市内22名、北部10名
- ・エコドライブマイスター講習会：1回（市内、北部）参加：市内26名、北部1名

③ 行政・関係団体等との連携による取組の推進

- 環境問題に関する啓発活動：小学校新入生向け環境教育用「じゅうちょう」25,000冊配付
- 環境啓発イベント

- ・ 京都セーフティ&エコドライブキャンペーン：京都府
- ・ 京都環境フェスティバル2022：（「脱炭素社会へ！ KYO から！ 私から！」）
- ・ 「エコこと学ば」

- 【中止】環境美化活動に参加（街頭啓発活動:京都市「京都・まち美化大作戦」）：京都市

④ 「トラックの森」整備・充実事業（銀閣寺裏山での植樹活動）：参加者120名

⑤ 点検整備講習会：1回（市内、北部）参加：市内25名、北部12名

⑥ 地球環境保全事業：寄附金型自動販売機の設置

⑦ SDGs 関連事業

- ・ SDGs の取り組み方や脱炭素の取り組みについてのセミナー：2回（市内、北部）
- ・ SDGs 会員登録制度：91社 99営業所
- ・ SDGs セミナー：2回〔1回目 29社 32名〕〔2回目 17社 23名〕

5 労務対策

[主な事業]

▷ Withコロナへの対応のため、手指消毒のための消毒液を会員事業者へ配布し、全ての従業員への感染予防対策の一助とした。

① Withコロナへの対応：手指消毒用消毒液の配布

▷ トラック運送事業における労働関係法令の遵守と適正な労務管理に向けた指導・啓発に取り組んだほか、国の主導で始まったトラック運送業界の長時間労働縮減に向けた協議の場に参画した。

② 労働関係法令遵守に向けた啓発推進と労務管理体制強化への支援

③ 「トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会」への参画と協議

④ 労働基準法に規定する諸規定等の作成支援（モデル就業規則、モデル36協定等）

⑤ 労務管理関連情報の提供、啓発推進（法令遵守セミナー開催等）

⑥ 運輸安全マネジメントセミナー：2回 70名

⑦ 「標準的な運賃」活用セミナー：1回 12名

⑧ 働き方改革関連セミナー：1回 43名

⑨ 同一労働同一賃金対応セミナー／改正改善基準告示の説明会：1回 14名

⑩ 中小トラック運送事業者のためのIT活用セミナー：※近代化促進・経営安定対策で記載

- ▷ トラックドライバーの健康状態に起因する事故防止に向けて、睡眠時無呼吸症候群の検査、脳ドック検査等の助成や定期健康診断の受診率向上に向けた受診料助成を行った。
 - ⑪ 労務管理対策助成
 - 睡眠時無呼吸症候群スクリーニング検査助成：35社、768名
 - 脳ドック検査助成：13社、28名
 - フォークリフト技能講習料助成：104社、133名
 - 定期健康診断受診料助成：18, 142名
 - 働きやすい職場認証取得促進助成：4社 4事業所
- ▷ 運送業界全体の高齢化が大きな課題となる中、次代の業界を担う人材育成対策として、大型・中型・準中型運転免許等の取得に対する助成を行った。
 - 大型・中型・準中型運転免許等取得費用助成：事業所 202名、個人：19名
- ▷ 運送業界の労働力不足に対応するため、「人材確保セミナー」や長時間労働の是正に向けた「働き方改革対応セミナー」、求職者向けの就職説明会の開催など、「人材確保対策」を実施した。
 - ⑫ 労働力確保に向けた「人材確保対策」の実施
 - 人材確保セミナー：1回 26名
 - 「トラック運送事業者セミナー」：1回 74名（市内、北部）
 - 合同就職説明会「トラック業界セミナー」：1回
 - 協会ホームページ内「人材募集企業のページ」に会員の求人情報を掲載した。（11社）
 - ⑬ 働き方改革対応セミナー（標準的な運賃普及と原価計算活用）：2回 60名
- ▷ 協会が一般講習・基礎講習を実施し、運行管理者等指導講習業務を行い運行管理者の受講率向上に努めた。
 - ⑭ 運行管理者一般講習（9回）、基礎講習（2回）
 - 受講者数：運行管理者講習 一般 347人、基礎 81人
- ▷ 労働災害防止に向け、過労死等防止セミナー等の開催や京都ゼロ災3ヶ月運動への積極的な参加を推進した。
 - ⑮ 労働災害防止に関する各種セミナーや運動を展開した
 - 京都ゼロ災3ヶ月運動への参加：32事業所（達成事業所 29事業所）
 - 過労死等防止、健康起因事故防止セミナーの開催：1回 35名
 - 健康起因事故防止マニュアルの作成と配布

6 その他の対策

[主な事業]

- ① 業界の課題や協会の取組を紹介する広報対策の推進
 - 広報誌「きょうとらっく」の発行、ホームページ等での会員向け情報提供
 - 各種メディアの活用によるPR、報道機関・業界紙等への対応（情報提供、取材対応等）
 - 物流セミナー：講師 井上和彦氏 参加109名
- ② 全国トラック運送事業者大会への参加：名古屋市
- ③ 交通事故物故者合同慰霊法要の開催：10月31日、霊山観音
- ④ 自動車関係諸税の軽減等業界要望に係る陳情、要望活動の展開
- ⑤ 行政機関等と連携した緊急時輸送体制の整備
 - 国・地方自治体による防災対策会議等への出席
 - 国・自治体主催総合防災訓練への参画・協力(京都府・京都市総合防災訓練参加)

- ⑥ 輸送サービスセンターにおける相談体制の充実と苦情処理への的確な対応
- ⑦ 協会組織内に位置付けた地域支部(8支部)や業種別部会(7部会)への支援

7 諸会議の開催

- ① 通常総会 [日 時] 令和4年6月15日(水)
[場 所] ホテルグランヴィア京都
[議題等] (1)[報告事項]令和3年度事業報告について
(2)[1号議案]令和3年度決算報告書の承認について
- ② 理事会
【第1回】[日 時] 令和4年5月18日(水)
[場 所] 京都府トラック協会
[議題等] (1)[1号議案]会員の新規加入・退会について
(2)[2号議案]令和4年度収支予算書の変更(案)について
(3)[3号議案]令和3年度事業報告及び収支決算報告の承認について
(4)[報告事項]・定款第27条に基づく業務報告、今後のスケジュール他
(5)<政治連盟>令和3年度事業報告及び収支決算報告の承認について
【第2回】[日 時] 令和4年10月14日(金)
[場 所] 京都府トラック協会
[議題等] (1)[1号議案]会員の新規加入・退会について
(2)[2号議案]役員選考委員会の設置と委員の推薦について
(3)[3号議案]環境対策への取り組みについて
(4)[4号議案]前衆議院議員 繁本まもる顧問に対する顧問料について
(5)[報告事項]・定款第27条に基づく業務報告、今後のスケジュール他
【第3回】[日 時] 令和5年3月16日(木)
[場 所] 京都府トラック協会
[議題等] (1)[1号議案]会員の新規加入・退会について
(2)[2号議案]役員選考委員会による理事会推薦候補者について
(3)[3号議案]令和5年度事業計画(案)及び収支予算(案)等の承認について
(5)[報告事項]・定款第27条に基づく業務報告、今後のスケジュール他
(6)<政治連盟>令和5年度事業計画(案)及び収支予算(案)等の承認について
- ③ 正副会長会議 18回開催
- ④ 委員会 [総 務] 3回開催
[労 務] 2回開催
[交通対策] 2回開催
[環境対策] 2回開催
[適正化事業実施機関評議委員会] 1回開催
[SDGs検討小委員会] 3回開催
[課題検討小委員会] 1回開催
- ⑤ 支部長会議 2回開催(内1回は書面開催)